

【主訴】 高血圧、便潜血、水虫

現在48歳

2年前の46歳の時の職場の健診で高血圧を指摘され、近医を受診して内服するが薬は飲みたくなく、主治医に将来は薬をやめたいと伝えると軽く笑われる。自己判断でやめるが血圧は高い。それ以前は上110～120/下60だったが2年前から上170/下110が平均。時々180台に行くことがありその時は一時的に降圧剤をとるようにしている。仕事のストレスについては2年前から訪問介護のナースになり、病院勤めの時よりも逆に楽になっていて一人で行動できるのでストレスがない。

初回は血圧の問題と共に、何をしても、自分がどれだけ母親から褒めてもらえるようなことを頑張っても、すべてダメ出しされ続けてきた過去の悲しみに焦点があたった。

否定されて認めてくれなかった悲しみをそのまま感じることをしてもらい、その認められなかった悲しみと向き合い感じることから逃げるために続けてきた人のために自分が尽くす生き方に目を向けて、それをしてきた頑張りを褒めるとともに、母親は自分がどれだけ頑張っても認めてくれる人ではないこと、得たくても得られなかった悲しみや失望をそのまま感じ、インチャにもう自分のために生きていこうという声をかけてもらった。そのインチャを癒すレメディーを選んだ。ご主人がお酒好きで毎日晚酌に付き合うこと、それに合うおつまみや揚げ物が好きなことから血管への損傷、コレステロール、血栓産生などによる高血圧を疑いレメディーを選択した。

朝 サポート Kessen+Carb-v.LM1

昼 アルボ Calc-p.LM2

夜 アルボ Ign.LM3

失望と悲しみ Ign.

母への失恋、血圧にも関係するミネラル Calc-p.

仕事からずっとマスクで酸欠と介入レメディーCarb-v.

サポート Kessen 高血圧が血栓を溶かすために起きていると食事内容から推察

2回目の相談会時にはもう信じられないくらい母親への気持ちは未練なくすっきりした。血

圧は最初少し下がったが、続かずやはり170台になるので、あまりに高い時は降圧薬を数回とった。

2回目の相談会では甲状腺の機能の低下や体質的に肥満傾向であること、悲しみを紛らわすために甘いものを過食しこれらの傾向につながったきっかけが、松山市から出雲市の田舎へ引っ越し、出雲市駅を降りて街の風景を見た時にセピア色に見えた。これからの田舎生活を予想して絶望したときからはじまったことから望郷の悲しみからの病理 Caps.やセピア色や甲状腺機能低下（血糖→副腎疲労→甲状腺機能低下）の流れも考慮しこれらにあう Sep.などをコンビネーションに加えた。また看護師という職業柄毎年受けてきたインフルエンザワクチンによる血管へのダメージも想定してインフルワクチンのレメディーを加えた。長女として自分の思いよりも相手が喜ぶことを優先してきた、しかしそれについて家族からは感謝もなかったなど、他者を優先してきた生き方に Carc.を選択。

朝 MT)サポート φ Tei-Kojyo+ Nux-v 30C

昼1 アルボ Carc LM03+ Sep LM02

昼2 H1N1-V エイチワンエヌワンバク 30C

夜 Caps LM04

3回目の相談会時の報告でも血圧に変化はあまり見られず、今回は血圧に係る臓器である心臓と腎臓のサポートを選択。

また過去の病歴である甲状腺機能低下症とアトピーで服用していたステロイドとチラーヂンは、その副作用として動脈硬化や高脂血症（ステロイド）、心悸亢進や脈拍増加（チラーヂン）といった高血圧に関わるものが含まれることからこれらのトートパシーを含めた。また母との関係でまた傷つけられる出来事があり、今までと違いそれは失礼だと言うことができたが、その自分の言動やそのような母も許せる自分でないといけないのではという罪悪感を感じていたので親離れの Puls. と理想的な人間になっていない自分を許せるよ Wakutam-w を選択。

朝 MT)サポート φ Shinz+ Puls LM05+Wakutam-w. 30C

+ Thym-gl 12C

昼 St-Rinde-D 30C+ Horm-Thyradi-D 6C

夜 MT)サポート φ Jin

この適用レメディーから初めてクライアントが血圧が下がり始めたと認める改善につながった。

150～160台に落ち着いてきています。良い時には140台の時もできました。

今のレメディーがキネシオロジーでもあっていて続けたいということで、同じレメディーの適用書を再発行して継続中。クライアントからもうこのまま良いので相談会は必要ないかと連絡を受けたが、まだ改善したばかりで、安定しているわけではなく、血圧を上げてしまう体質そのものはまだ改善されていないと思われるため、次回8月22日に行い食事の改善や血管の強化などのアプローチを続けて、高血圧およびその他の病気の元となるものを改善していこうと思う。

3回目のレメディーからしっかり血圧が下がる変化が起きたため、高血圧の原因としては食事の問題だけでなく、頑張る、頑張る自分の本心を抑えてでも相手にとって愛される人間にならなければいけないという思いが関係しているのではないかと考える。彼女の中ではそれは既にさまざまなセッションやセラピーを経て癒してきたということだが、そのようなインチャの中でも根源的な愛を求める動力からの無理はなかなか簡単に緩めることはできないはずで、自覚できない程に、その人自身の人格に組み込まれてしまっている。この部分についても継続して、症状があるということは未解決な問題を示しているということをやりにアプローチを続けていかななくてはならない。